

◆台北国立故宮博物院展の開催について

故宮博物院の収蔵品が10月7日から11月30日の間、日本で初めて公開されます。写真の肉形石(通称:豚の角煮)は門外不出の大変貴重なもので、九州国立博物館では2週間限定で展示されます。私の一般質問の要旨は次のとおりです。

Q	東京開催との連携、海外への発信など広報活動を工夫し、多くの来場者を確保するとともに、国博を世界に認識してもらう好機とすべきと考えるが、県の対応は？
A	九州国立博物館、そして『福岡県』を内外にPRする絶好の機会。県ホームページ、アジアナビなどの広報媒体をよるほか、海外の旅行者へ説明会等を実施する。東京と連携して、共通のパンフレットを作成するなど、一体的な広報活動を行う。
Q	交通渋滞の緩和、安全対策、待ち時間の短縮など、来場者が楽しく満足できるための対策が必要であると考えますが、県の対応は？
A	公共交通機関の利用やパークアンドライド駐車場の活用を促進する。案内スタッフの増員、開館時間延長、休館日の縮減、整理券の活用などについて他の主催者と協議していく。
Q	近隣自治体や商工会、観光協会などが実施する関連イベントとの連携により経済効果を図る必要があると考えますが、県の取り組みはどうなっているのか？
A	来訪者に周辺地域を含めて滞在、周遊してもらうことは、観光消費を増やし、経済効果を拡大することにつながる。周辺や県内の観光資源を活用したルートをつくり、積極的に発信する。市町村や関係者と一緒になって、観光振興につなげる。
Q	今回の展覧会を通じて、日本と台湾の歴史や文化、両国の友好関係について理解し、若者の教育にも生かしていく必要があると考えますが、県の取り組みはどうか？
A	県内の小・中・高等学校に対し、展覧会の観覧を促すとともに、教育活動の中で、今回の展覧会の開催が台湾について学ぶ格好の機会となるよう働きかける。